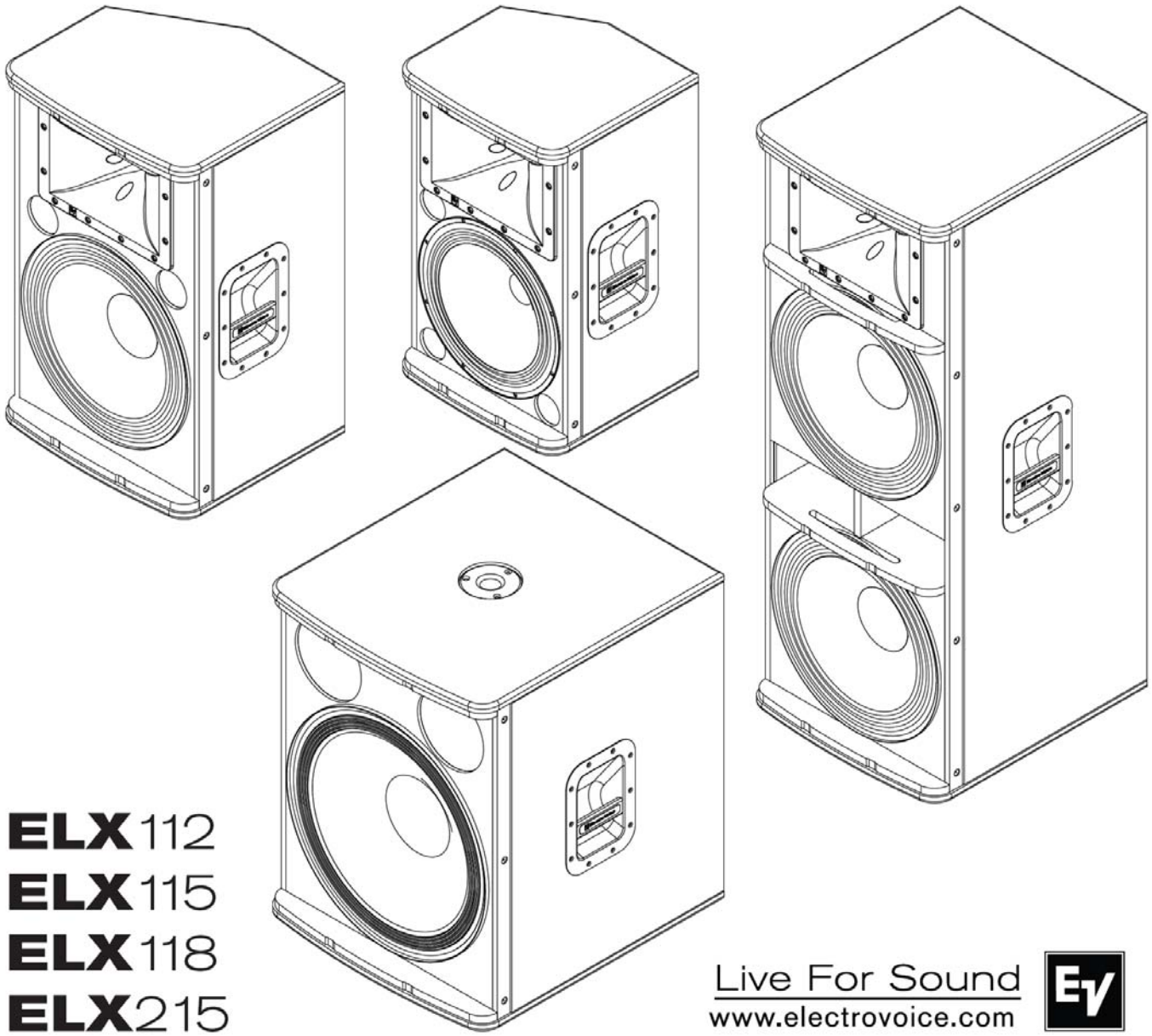
Live X

パッシブ・スピーカー
取扱説明書



ELX112
ELX115
ELX118
ELX215

Live For Sound
www.electrovoice.com

Live X

安全にお使いいただくために

1. 安全に正しくお使いただくために、取扱説明書をお読みください。
2. 取扱説明書はいつでも見られる所に保管してください。
3. 警告の内容すべてに注意してください。
4. 取扱説明書に従って操作してください。
5. 本装置を水の近くで使用しないでください。
6. 汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
7. ラジエーター、通気調節装置、ストーブなどの熱源、またその他の熱を発生させる装置 (アンプを含む) の近くに本装置を設置しないでください。
8. メーカー指定の取り付け具/付属品以外は使用しないでください。
9. 本装置に液体が落ちたり、飛散したりしないように注意し、液体の入った物を装置の上に置かないでください。

正三角形に電光と矢印がある記号は、製品のケース内に絶縁されていない「高圧電流」が流れ、感電の危険があることを警告するものです。

正三角形に感嘆符のある記号は、本装置の取扱説明書に記載されている操作と保守（整備）の重要な指示への注意を喚起するものです。

正三角形にアスタリスクのある記号は、本スピーカー・システムに関連する装置とハードウェアの必要な設置と取り外しの指示を知らせるものです。

予防策

- Live X シリーズ･パッシブ･スピーカー･システムは+ 40℃ (104°F) を超える環境で使用しないでください。

- Live X シリーズ･パッシブ･スピーカー･システムを雨水、高湿度にさらさないでください。

- エレクトロボイスの Live X シリーズ･パッシブ･スピーカー･システムは、カバーエリアの範囲内にいる人が永続的な難聴になるほどの音圧レベルを簡単に生成できます。長期間 90 dB を超える音圧レベルにさらされないように注意してください。

目次

安全にお使いいただくために 2
予防策 2
目次 2
製品の紹介 3
システムの特長 3
スタンドとフロア・モニタ ..... **エラー! ブックマークが定義されていません。**
推奨する構成 7
仕様 11
寸法 12
周波数特性グラフ 14
保証 14
トラブルシューティング 15

製品の紹介

このたびはエレクトロボイス Live X シリーズ･パッシブ・スピーカーをお買い上げ頂き有難うございます。本書をお読みになり、エレクトロボイス・スピーカー・システムに組み込まれた機能を理解し、その性能をご活用ください。

エレクトロボイスのクリアでパワフルなスピーカー・システムは、世界中の注目を集める会場や大イベントのステージでよく使われています。ステージですぐに使える Live X シリーズ･パッシブ･スピーカー･システムは、EV 設計のコンポーネントが頑丈な木製キャビネットに収容されています。Live X シリーズ･パッシブ･スピーカー･システムは本格的なサウンド向けの重要な機材です。

システムの特長

ELX112 － 12 インチ 2 ウェイ・パッシブ・スピーカー・システム
ELX112 スピーカーは多目的に利用できる、コンパクトでパワフルなスピーカー・システムです。ステージ上で存在感があり、サウンド・レインフォースメントやステージ・モニターに最適です。

- DH-1K 1.5 インチ (3.81cm) チタン製ダイアフラムコンプレッションドライバー
- EVS-12K 12 インチ (30cm) ウーファー
- 周波数特性: 55 Hz - 20 kHz
- 最大出力音圧: 132 dB
- 許容入力: 250 W (連続)、1000 W (ピーク)
- ポール・マウントまたは Live X サブウーファーの上にスタック
- 90°x 50°カバレッジ・パターンの高域ホーン
- 60 度のモニター角度
- 15mm 合板筐体、内部補強、テクスチャーペイント塗装

ELX115 －15 インチ 2 ウェイ・パッシブ・スピーカー・システム
EXL115 は ELX112 の上位モデルで 15 インチ・ウーファを搭載し、低域再生能力も優れ、大きな空間での SR に威力を発揮します。

- DH-1K 1.5 インチ (3.81cm) チタン製ダイアフラムコンプレッションドライバー
- EVS-15K 15 インチ (38cm) ウーファー
- 周波数特性: 50 Hz - 20 kHz
- 最大 SPL は 134 dB
- 許容入力: 400 W (連続)、1600 W (ピーク)
- ポール・マウントまたは Live X サブウーファーの上にスタック
- 90°x 50°カバレッジ・パターンの高域ホーン
- 60 度のモニター角度
- 15mm 合板筐体、内部補強、テクスチャーペイント塗装

システムの特長

ELX215 － デュアル 15 インチ 2 ウェイ・スピーカー
このデュアル・ウーファ構成は迫力のある重低音を響かせ、1 台のキャビネットから高音量の出力と超広帯域の周波数特性が求められるアプリケーションに理想的です。

- DH-1K 1.5 インチ (39mm) チタン製ダイアフラム圧縮ドライバ
- デュアル EVS-15K 15 インチ (381mm) ウーファ
- 周波数レンジ: 38 Hz - 20 kHz
- 最大 SPL は 137 dB
- 許容入力は 600 W (連続)、2400 W (ピーク)
- 90°x 50°カバレッジ・パターンの高域ホーン
- 15mm 合板筐体、内部補強、テクスチャーペイント塗装

ELX118 － 18 インチパッシブ･サブウーファー
ELX 118 は ELX112 と ELX115 との組み合わせで最適な性能が得られ、重厚感のある低音を付加し、迫力を体感できます。

- EVS-18K 18 インチ (457mm) ウーファが広がりのある低音を響かせます
- 周波数レンジ: 35 Hz - 200 Hz
- 最大 SPL は 134 dB
- 許容入力は 400 W (連続)、1600 W (ピーク)
- ポール・マウント取り付けまたは Live X スピーカーに積み重ね
- 15mm 合板筐体、内部補強、テクスチャーペイント塗装

フロア・モニターとスピーカー・スタンドの設置

フロア・モニター
エレクトロボイス ELX112 と ELX115 パッシブ·スピーカー・システムは、フロア・モニターとして使用できます。次の点を確認し、設置してください。

- スピーカーを平らで安定し、しっかりした面に置きます。
- 出演者、製作スタッフ、観客らがケーブルにつまずかないように配線します。可能ならばケーブルをワイヤ・タイやテープで固定します。

モニター位置に設置したときのスピーカー正面の最適なカバレッジ・エリアは、図 1a と 1b を参照してください。

図 1a:
ELX112/ ELX115 の最適なカバレッジ
(正面図)

図 1b:
ELX112 / ELX115 の最適なカバレッジ
(側面図)

フロア・モニターとスピーカー・スタンドの設置

スピーカー・スタンド

エレクトロボイス ELX112 と ELX115 スピーカーには 35mm スタンド・マウント・ソケットが付属しています。TSP-1 / TSS-1 各スピーカー･スタンドまたは、ASP-1 を使用して ELX 118P の上に設置が可能です。一般的に販売されている 35mm 径の接続部を持った汎用スピーカー･スタンドも使用可能です。次のことを確認し、安全に設置してください。

- 汎用スピーカー･スタンドを使用する場合、仕様を参照してスピーカー･スタンドの最大荷重を確認してください。
- スピーカー・スタンドを平らで安定した面に置き、スタンドの脚が完全に伸びているか確認してください。その構造上の完全性を損なわないようにしてください。
- 出演者、製作スタッフ、観客らがスタンドやケーブルにつまずいたり、スピーカー・システムをひっくり返したりしないようにケーブルを配線し、スタンドを配置してください。可能ならばケーブルをワイヤ・タイまたはテープで固定してください。
- 1 台のスピーカー･スタンドに複数のスピーカーを取り付けないでください。
- スピーカーが重くて安全にスタンドに持ち上げることができないと思われる場合は、誰かに手伝ってもらってスタンドに載せてください。

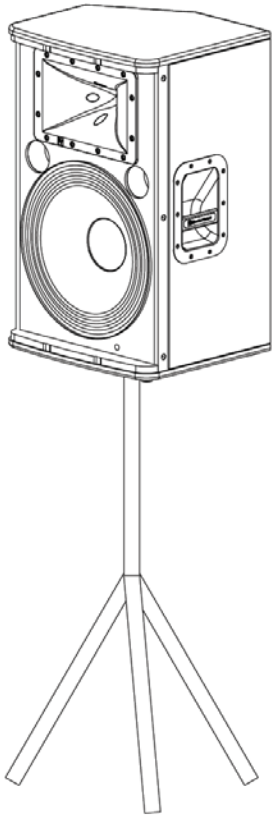


図 2a:
スピーカー･スタンドに乗せた ELX112P / ELX115P

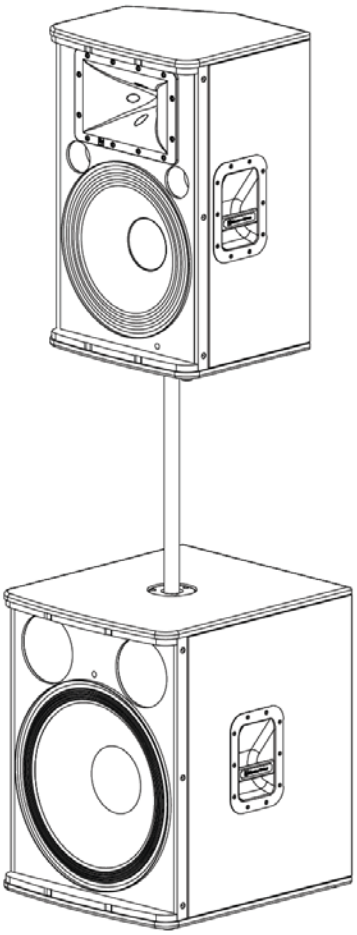


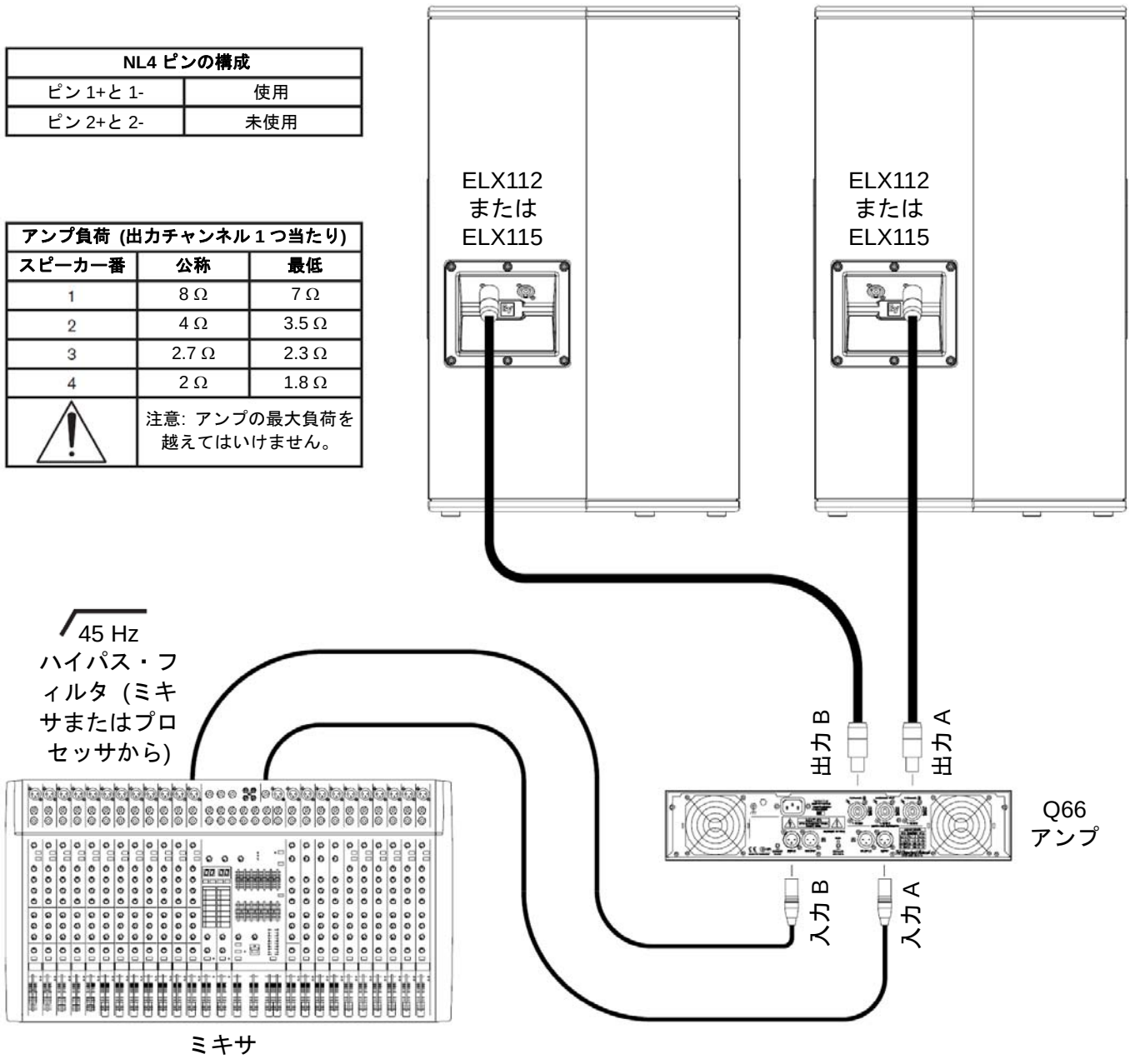
図 2b:
ポール・マウントを使った
Live X フルレンジ / サブウーファ・スタック

推奨する構成

ELX112 または ELX115 を使用した基本ステレオ・システム

NL4 ピンの構成	
ピン 1+と 1-	使用
ピン 2+と 2-	未使用

アンプ負荷 (出力チャンネル 1 つ当たり)		
スピーカー番	公称	最低
1	8 Ω	7 Ω
2	4 Ω	3.5 Ω
3	2.7 Ω	2.3 Ω
4	2 Ω	1.8 Ω
⚠	注意: アンプの最大負荷を越えてはいけません。	

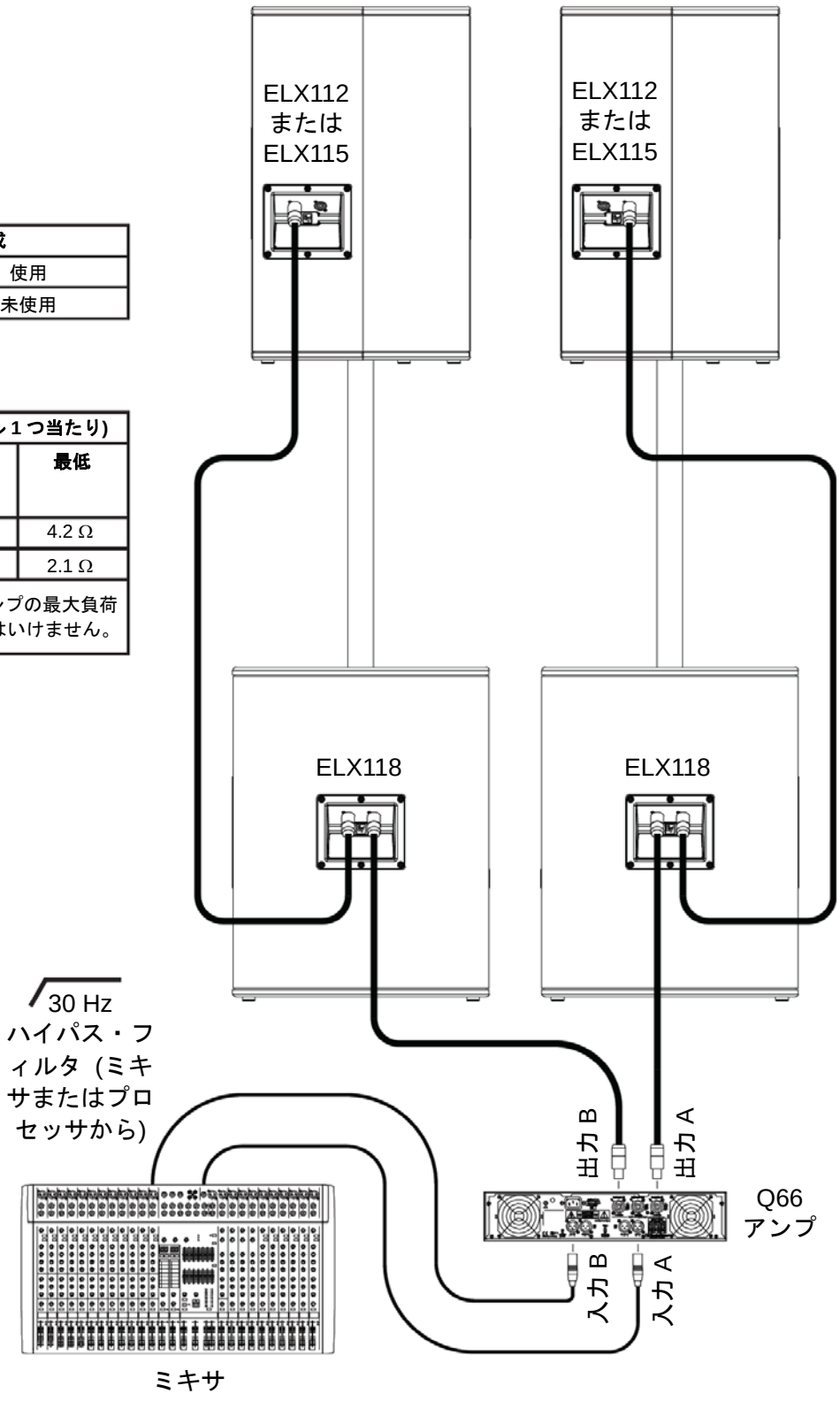


推奨する構成

ELX118 サブウーファーを ELX112 または EXL115 へ連結
この構成ではアンプ・チャンネルを追加せずに低域再生を増大させることができます。

NL4 ピンの構成	
ピン 1+と 1-	使用
ピン 2+と 2-	未使用

アンプ負荷 (出力チャンネル 1 つ当たり)		
サブウーファー/フルレンジの組み合わせの番号	公称	最低
1	6 Ω	4.2 Ω
2	3 Ω	2.1 Ω
⚠	注意: アンプの最大負荷を越えてはいけません。	

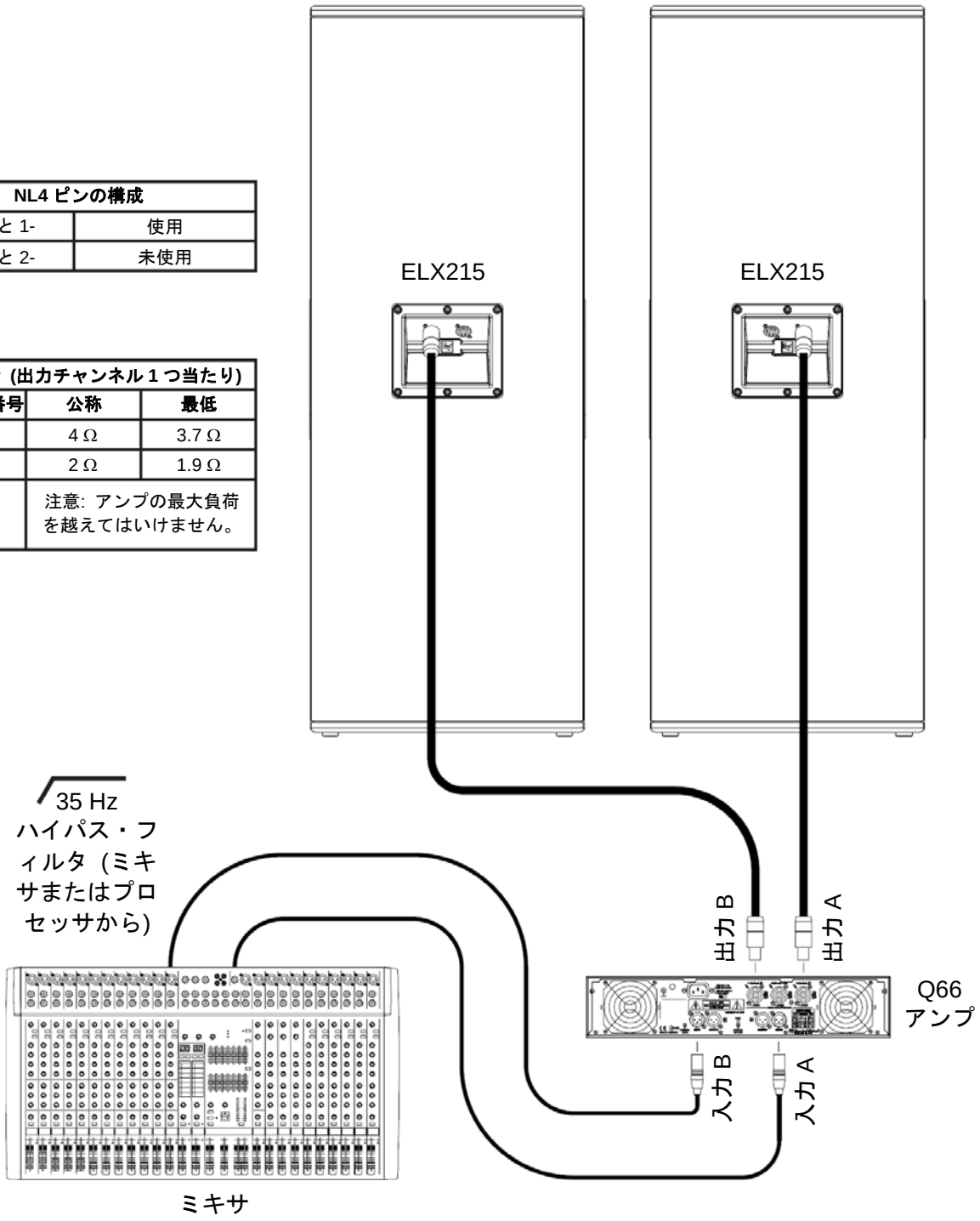


推奨する構成

ELX215 を使用した基本ステレオ・システム

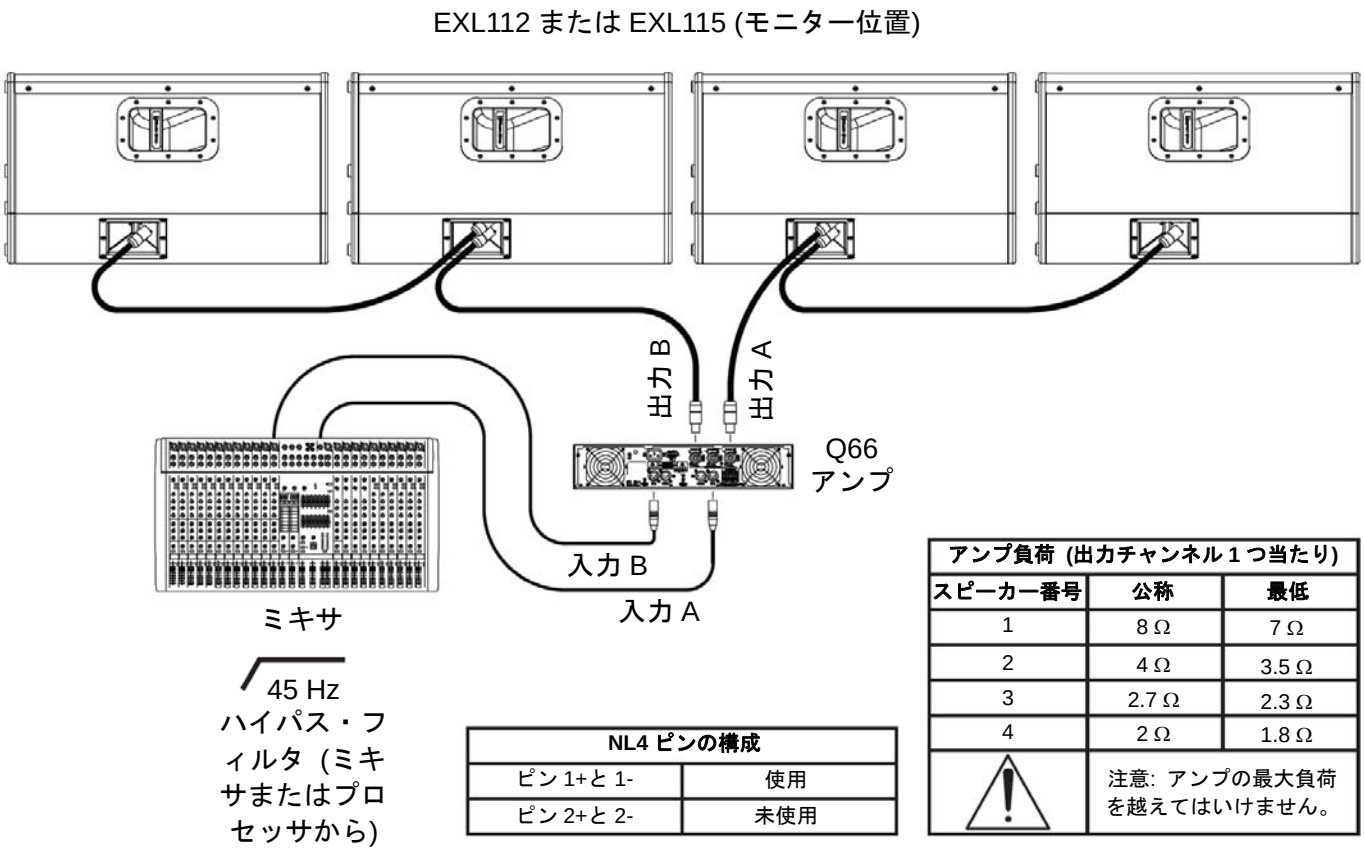
NL4 ピンの構成	
ピン 1+と 1-	使用
ピン 2+と 2-	未使用

アンプ負荷 (出力チャンネル 1 つ当たり)		
スピーカー番号	公称	最低
1	4 Ω	3.7 Ω
2	2 Ω	1.9 Ω
⚠	注意: アンプの最大負荷を越えてはいけません。	



推奨する構成

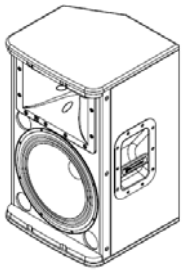
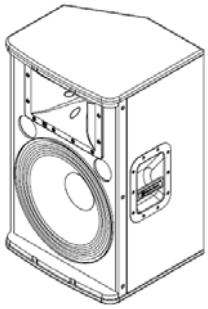
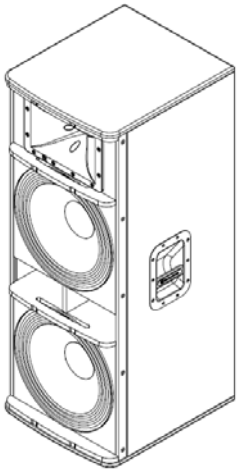
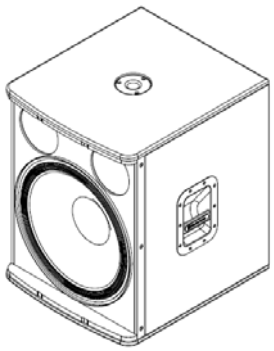
複数の ELX112 または ELX115 をステージ・モニターとして使用



NL4 ピンの構成	
ピン 1+と 1-	使用
ピン 2+と 2-	未使用

アンプ負荷 (出力チャンネル 1 つ当たり)		
スピーカー番号	公称	最低
1	8 Ω	7 Ω
2	4 Ω	3.5 Ω
3	2.7 Ω	2.3 Ω
4	2 Ω	1.8 Ω
⚠	注意: アンプの最大負荷を越えてはいけません。	

仕様

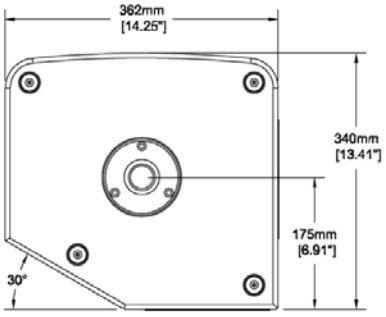
モデル (商品番号)	ELX112 (F01U170823)	ELX115 (F01U170824)	ELX215 (F01U170826)	ELX118 (F01U170825)
				
周波数特性 (-3 dB)	82 Hz - 18 kHz[1]	75 Hz - 18 kHz[1]	62 Hz - 18 Hz[1]	50 Hz - 100 Hz[2]
周波数特性 (-10 dB)	55 Hz - 20 kHz[1]	50 Hz - 20 kHz[1]	38 Hz - 20 Hz[2]	35 Hz - 200 Hz[2]
最大測定 SPL	132 dB	134 dB	137 dB	134 dB
推奨 HP 周波数	45 dB	40 dB	35 dB	30Hz
指向性 (水平 × 垂直)	90° × 50°			無指向性
最大アンプ出力	250W (連続)、 1000W (ピーク)	400W (連続)、 1600W (ピーク)	600W (連続)、 2400W (ピーク)	400W (連続)、 1600W (ピーク)
LF トランスデューサ:	EVS-12K、 12 インチ (30cm) ウーファー x 1	EVS-15K、 15 インチ (38cm) ウーファー x 1	EVS-15K、 15 インチ (38cm) ウーファー x 2	EVS-18K、 18 インチ (46cm) ウーファー x 1
HF トランスデューサ:	DH-1K 1.5 インチ(3.81cm) チタン製ダイアフラム コンプレッションドライバ			N / A
クロスオーバー周波数:	2.1 Hz	1.7 kHz		N / A
公称インピーダンス	8 Ω		4 Ω	8 Ω
最小インピーダンス	7.0 Ω	7.4 Ω	3.7 Ω	6.7 Ω
コネクタ:	Dual NL4			
筐体の素材:	9 層、15mm 合板、内部補強、テクスチャーペイント塗装			
グリル:	18GA スチール、黒パウダーコート塗装			
寸法 (H × W × D):	607mm × 362mm × 340mm	708mm × 432mm × 382mm	1154mm × 432mm × 501mm	661mm × 507mm × 574mm
本体重量:	16.0 kg	21.9 kg	40.7 kg	30.6 kg
輸送重量:	19.9 kg	26.6 kg	48.4 kg	37.2 kg
適合アクセサリー:	TSS-1 スピーカー･スタンド TSP-1 スピーカー･スタンド (1 ペア/TCB1 カバー付) ASP-1 サブウーファー･スタンド		N/A	ASP-1 サブウーファー･ スタンド

最大 SPL は最大アンプ出力時、広帯域ピンク・ノイズを使って 1m 離れたところで測定。

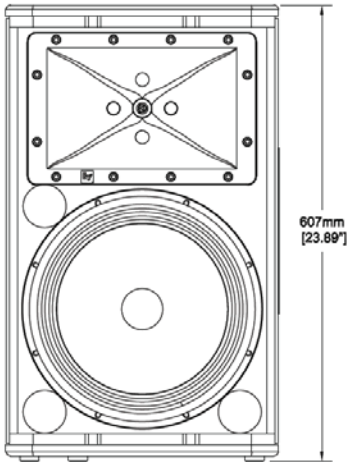
Live X

寸法

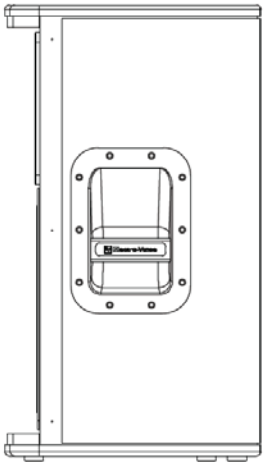
ELX112



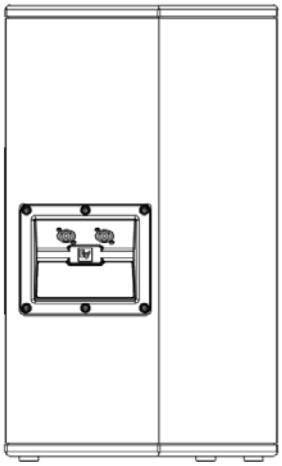
底面図



正面図

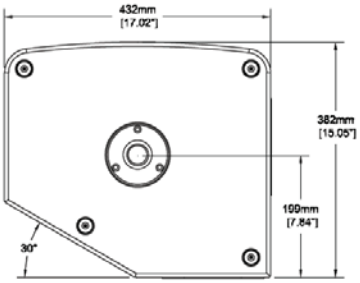


右側面図

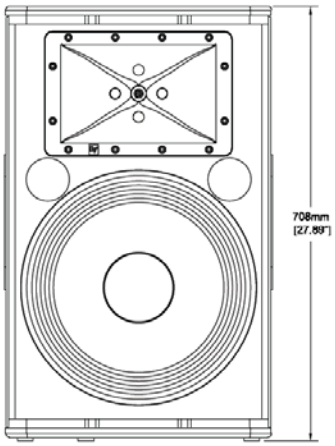


背面図

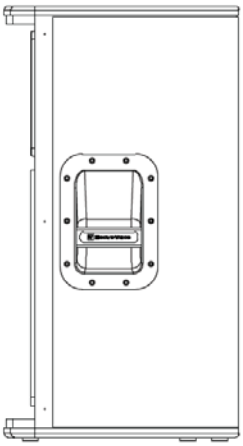
ELX115



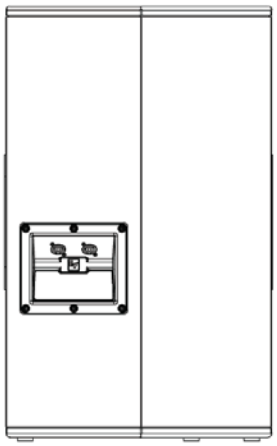
底面図



正面図



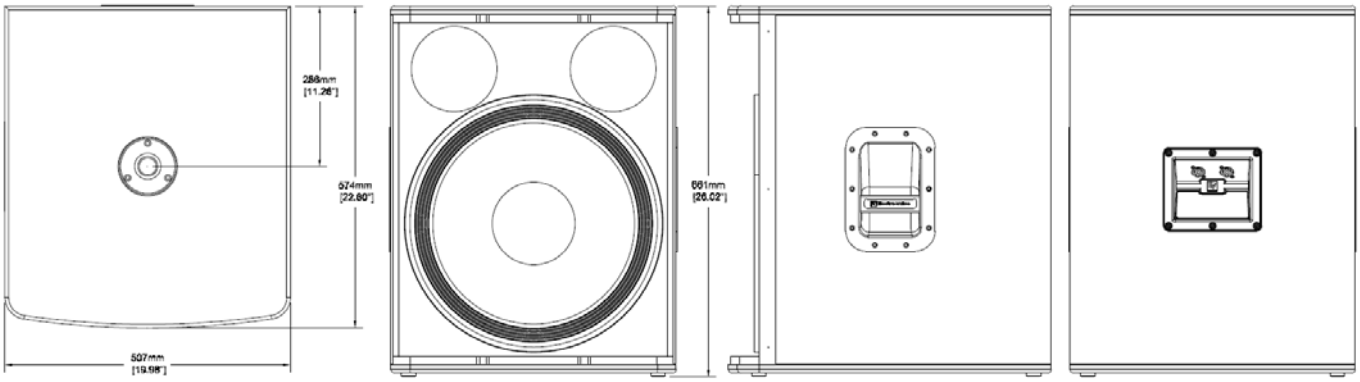
右側面図



背面図

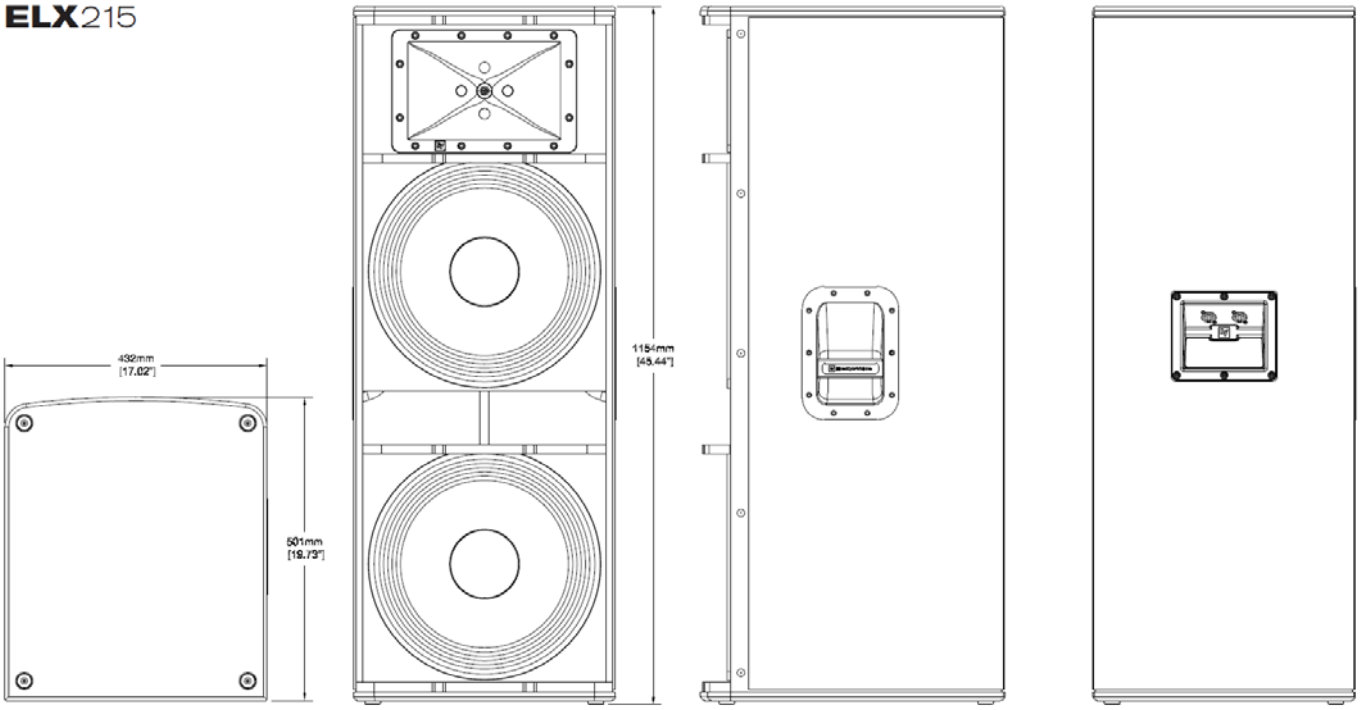
寸法

ELX118



底面図　　正面図　　右側面図　　背面図

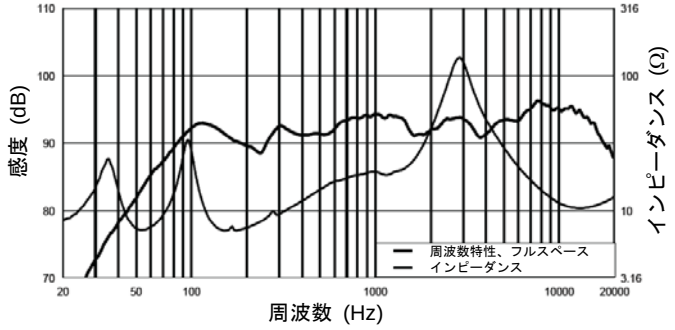
ELX215



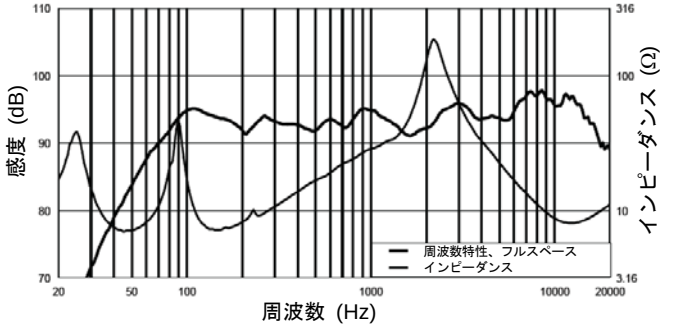
底面図　　正面図　　右側面図　　背面図

周波数特性グラフ

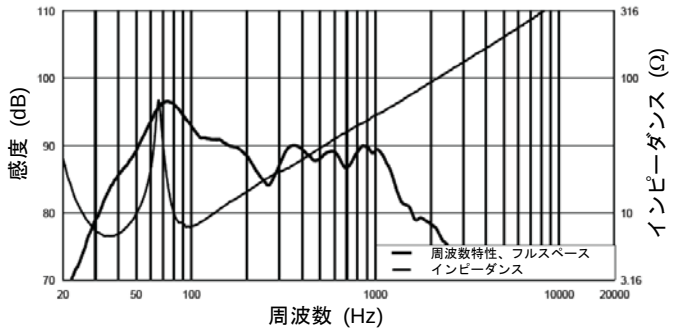
ELX112



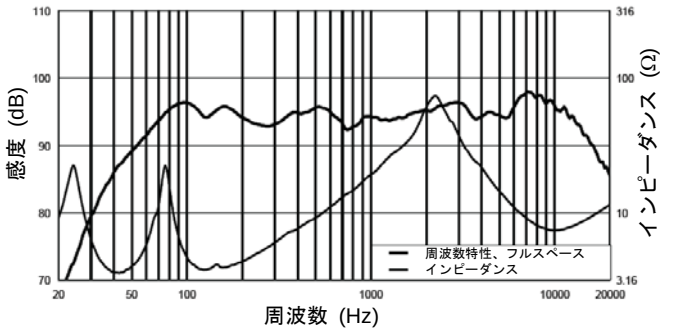
ELX115



ELX118



ELX215



ELX モデル・リファレンス表

モデル	指向性	仕上げ	商品番号
ELX112	90° × 50°	ブラック	F01U170823
ELX115	90° × 50°	ブラック	F01U170824
ELX118	無指向性	ブラック	F01U170825
ELX215	90° × 50°	ブラック	F01U170826
ELX アクセサリー			
モデル	**内容**		**商品番号**
TSS-1	スピーカー・スタンド		F01U144916
TSP-1	TSS-1 x 2 + TCB カバー x 1		F01U117867
ASP-1	サテライトマウント用スピーカー・スタンド		F01U117879
ELX112-CVR	ELX112 用スピーカーカバー		F01U261387
ELX115-CVR	ELX115 用スピーカーカバー		F01U261388
ELX118-CVR	ELX118 用スピーカーカバー		F01U261389
ELX215-CVR	ELX215 用スピーカーカバー		F01U261219

保証

保証については弊社ホームページ http://www.eviaudio.co.jp/warranty_poricy/index.html をご覧ください。

トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対応策
1. 音がでない。	アンプの問題	正しく鳴ることが分かっているテスト・スピーカーをアンプ出力に接続します。音が聞こえない場合は、電子機器がすべてオンになっていること、信号ルーティングが正しいこと、音源がアクティブであること、ボリュームを上げていることなどをチェックし、必要ならば修正/修理/交換してください。音が聞こえる場合は、配線に問題があります。
	配線の問題	アンプに正しいワイヤ・ペアを接続してあるか確認します。低いレベルでアンプを通して何か音楽を流します (CD プレーヤーやチューナーなどから)。テスト用プレーヤーを故障しているラインと並列接続します。サウンド・レベルが消えているまたは非常に弱い場合、ラインはショートしています (おそらくひどいこすれ、圧迫またはステープルの刺穴が原因)。サウンド・レベルが通常どおりであれば、ワイヤはオープン回路です (おそらくワイヤ切断または接続抜け)。テスト用スピーカーを使い、ラインを移動し、各接続/接合部をテストして問題箇所を特定し、問題を解決します。また、極性が正しいかも確認してください。
2. 低周波特性が不十分	スピーカーのプラス、マイナスの配線が逆です。	2 台のスピーカーがプラス、マイナスが逆に接続されている場合、低周波数は互いにその音をキャンセルし合います。スピーカー・ケーブルのマーキングまたはトレーサーをよく見てください。アンプ (+) 端子を NL4 コネクタのピン 1+に、アンプの(-)端子を NL4 コネクタのピン 1-に接続してあるか確認してください。
3. 断続的にパチパチというノイズやひずみ雑音がある。	接続不良	アンプとスピーカーのすべての接続をチェックし、ケーブルに汚れがなくしっかり接続されていることを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、アンプまたは配線に問題があります。上記の症状 1 を参照してください。
4. 絶えずブーという音、シューッという音、ブーンというノイズが鳴っている。	音源またはその他の電子機器の不具合	ノイズがあり入力している演奏曲目が鳴っていない場合、おそらく電子機器の信号チェーンに原因があります。必要に応じて各コンポーネントを調べ、問題を特定してください。
	システムのグラウンドが不適切またはグラウンド・ループが発生している。	必要に応じてシステム･グラウンドをチェックし、修正してください。
上記の対応策を講じても問題を解決できない場合は、最寄りのエレクトロボイス販売代理店にお問い合わせください。		

EVI AUDIO

www.eviaudio.co.jp

株式会社 イー ブイ アイ オーディオ ジャパン
100-0014　東京都千代田区永田町2丁目13-1 ボッシュビル赤坂9階　Phone：03-5485-4427　Fax：03-3507-4422
品川サービスセンター／140-0002　東京都品川区東品川4丁目13-34 タカセ(株)東京営業所内　Phone：03-5485-4434　Fax：03-3450-9791
名古屋／Phone：052-331-9691　Fax：052-331-9592　　大　阪／Phone：06-6464-3109　Fax：06-6464-3099